



第54回 国本地区たこあげ大会

1
日
28

【場所】 国本中学校 校庭
【主催】 国本地区子ども会育成会連絡協議会
【参加人数】 135名

コロナ禍で開催が見送られてきたたこあげ大会が4年ぶりに開催され、国本の空に冬の風物詩が戻りました。

親子で一緒に作って、自分で絵を描いて出来上がった『世界に一つしかない自慢の凧』が、冬晴れの空に揚がったときはとても気持ち良かったのではないかと思います。滞空時間を競った今大会で優勝した選手は、風をも味方にして空高く揚げておりその堂々とした姿が印象に残りました。

来年もぜひ挑戦してくださいね。



くにもとまつり — 文化祭・農業祭 —

令和5年
11月11日
11月12日

【場所】 国本地区市民センター 【主催】 くにもとまつり運営委員会
【来場者】 2日間で約1,200名

今年の「くにもとまつり」は、4年ぶりにコロナ禍前と同様の2日間にわたっての開催となりました。区内小中学校や各サークルによる作品展示、ステージ発表などに加え、新鮮な野菜の直売や模擬店、スタンプラリーによる抽選会など、さまざまな催しが行われ、大変な賑わいを見せました。



コロナ禍のため思うように開催できずにいた「くにもとまつり」ですが、来場した皆さんに地域の食や文化などの魅力を再認識していただくとともに、住民同士のつながりを深めていくためにも、地域の一大イベント「くにもとまつり」を開催していくことがとても大切だと感じました。

ふれあいウォーク

令和5年
12月9日

【場所】 国本地区内
【主催】 国本地区づくり振興会生涯学習部会
【参加人数】 87名

ぽかぽか陽気の中、子どもからお年寄りまで、多くの方が参加しました。

今回は、国本地区の南東部を巡るコースで、センターを出発し、宝木智賀都神社→若山農場→西弁天沼→悟理道水神社・神輿→宝木用水→宝国神社→仁良塚彫刻屋台→岩崎団吉の碑を巡る約4 kmのウォーキングでした。

映画の撮影などで人気の「若山農場」では、美しい竹林に癒され、「悟理道水神社・神輿」や「仁良塚彫刻屋台」では、川村氏の丁寧な説明を聞きながら歴史に思いをはせ、豊かな自然と歴史的資源に恵まれた国本地区のすばらしさを満喫することができました。

そして、何とんでも4年ぶりに復活しましたゴール後に頂く「うどん」の美味しかったこと。食生活改善推進協議会の皆さんの協力で食べることができました。ウォーキングの疲れを吹き飛ばしてくれました。



令和6年 二十歳を祝う 成人のつどい

1月7日

【場所】 ホテル東日本宇都宮「大和西」
【主催】 二十歳を祝う成人のつどい実施委員会
【参加者】 卒業年度 平成30年度（2019年）

松の内7日に、毎年恒例の令和6年二十歳を祝う成人のつどいが開催されました。

男性はスーツや和装、女性は着物に着飾って久しぶりに会う同級生と式が始まる前から盛り上がっていました。

実施委員長の開式のことは、市長のメッセージ視聴、来賓の挨拶の後、成人者代表から二十歳の誓いが力強く宣言され大人としての第一歩を確認しました。

式の途中では当時の校長先生や担任の先生の紹介と近況を聞き、先生方には花束贈呈を行い感謝の意を表し、最後にはクラス別の集合写真を撮り無事に式は終了しました。

新成人の皆さんにはこれからの長い時を生き抜き立派な大人になることを願います。



長寿会員による 社会福祉大会

1月14日

【場所】 国本地区市民センター
【主催】 国本地区長寿会連合会
【参加人数】 97名

コロナ感染拡大予防のために中止していた社会福祉大会が、1月14日に国本地区市民センターで開催されました。

内容については、オープニングの和太鼓の演奏と獅子舞で新年のお祝いと五穀豊穡、悪魔払いで始まりました。その後、プロ歌手の歌、全員で青い山脈の合唱、仮装デュエット、浪曲手品、カラオケでの歌の披露などで大変盛り上がりました。

外は厳冬の寒さの厳しい日でありましたが、会場は熱気がいっぱい楽しい一日を過ごし、最後に北国の春を全員で合唱し、来年の再会を約束し解散いたしました。



国本地区づくり振興会 新年会

1月20日

【場所】 ろまんちっく村
【主催】 国本地区づくり振興会

国本地区づくり振興会常任委員である各自治会長や各種団体の代表など、35名が参加し、新年会が開催されました。

コロナ禍のため、さまざまな懇親の場が中止となっていました。今年は常任委員のみの出席と規模を縮小し、4年ぶりに開催することができました。

例年と比べると少人数ではありましたが、和やかな雰囲気の中、「明るく活気あふれ住みよい国本地区」実現のため、今後のまちづくりについて意見交換するとともに、久しぶりに参加者同士の親睦を深めることができました。



くにもと you 遊 club ~地元の宮ゆずについて学ぼう~

1月20日

【場所】 国本地区市民センター 調理実習室 【主催】 国本生涯学習センター
【参加者】 国本地区在住の小学生と保護者（7組）

本地区在住の小学生と保護者を対象とした講座「くにもと you 遊 club」を開催しました。

今回は床井柚子園の床井光雄さんと床井愛さんを講師に迎え、「地元で作られている宮ゆずについて学び、調理して味わう」という講座でした。調理し作ったのは「ゆずジャム」と「ゆず味噌」でした。ジャムはクラッカーにのせたり、炭酸水を入れてゆずサイダーにしました。ゆず味噌は茹でたコンニャクにのせてコンニャク田楽で食べました。

参加者の中から、「今までゆずはお風呂に入れるだけだったので、調理方法を学べて良かった」や「おいしかった」「親子で地元のゆずについて学べて良かった」などの声がありました。

国内だけでなく、海外からも注目されている宮ゆずを、今回の講座で地元の子どもたちにも知ってもらいたいきっかけとなりました。



[第77回 栃木県芸術祭美術展 写真部門] 桜井 俊夫 氏 (仁良塚) 準芸術祭賞受賞

[期日] 令和5年10月28日④～11月7日④
[場所] 栃木県総合文化センターギャラリー
[作品の題目] 春の息吹

前回「第77回栃木県芸術祭美術展」写真部門について紹介いたしましたが、桜井俊夫氏が芸術祭賞に次ぐ準芸術祭賞を受賞されておりましたので紹介いたします。

審査寸評には「レンズ特性を活かし、太陽と放射状にたなびく雲の形状をダイナミックに配置して、強い印象を作り出すことに成功している。満開のつつじの赤と空の青、雲の白と色の対比も美しく目を奪われる。シャッターチャンスを十分に活かせる作者の力量の高さが写真に表れている」と評されておりました。

芸術祭賞が1名、準芸術祭賞2名という厳しい中での受賞でした。誠におめでとうございます。



「春の息吹」

国本の歴史と文化

第八話

神郷地区の歴史文化遺産が 「宇都宮市民遺産」に認定

国本地区北西部にある新里町のほぼ中央に位置する神郷地区の「薬師堂の伝統行事」が、令和5年度の「みや遺産」に認定されました。国本地区では5つ目のみや遺産となります。

このお堂は地域の寺沢石を石瓦として用い、江戸時代に建造されたお堂で、薬師如来立像や十王像等が安置され、近隣から多くの信仰を集めていました。

現在もその精神を受け継ぎ健康と家内安全や五穀豊穡を祈願する、花まつり・宗円獅子舞を奉納する伝統行事を行う施設として大切に受け継がれています。

神郷の雄大な景観を背景に建つ薬師堂で毎年5月（旧4月8日）に花まつり、8月の最終日曜日に宗円獅子舞奉納の伝統行事が実施されています。

平成12年頃までの花まつりは、お堂脇の小屋に泊りがけで日夜老若男女が集う賑わいであったそうです。

令和6年3月

宇都宮市文化財調査員 川村泰一



雨乞山を背景に建つ薬師堂



花まつり（誕生仏に甘茶を注ぐ）



8月の獅子舞奉納

国本地区データ



総世帯数 6,410世帯

総人口 14,994人

[男 7,448人 女 7,546人]

(令和6年2月末日現在)

編集スタッフ募集

「広報くにもと」の編集ボランティアを募集しています。
年齢・経験は問いません。

【問合せ】国本地区市民センター TEL.665-2942

【編集・発行】国本地区づくり振興会

〒320-0075 宇都宮市宝木本町1868番地1（国本地区市民センター内）TEL 665-2942 FAX 665-7225

住めば
愉快
宇都宮